

参加者

学校運営協議会委員

中川賢一 黒須智子 有野一良 伊澤淑子 小林亞由子

渡辺正巳 設樂孝男（校長）

オブザーバー 地域学校協働活動推進員（橋本俊明）

事務局 教頭・教務



欠席者

学校運営協議会委員（大古理恵子・青木信行）

※敬称略

1 日時 令和4年10月20日（水） 10:10~12:00

2 内容

(1) 児童表彰式臨席 10:10~11:15

(2) 意見交換・協議 11:25~12:00

①校長あいさつ

②児童表彰の感想

- ・立派にできて素晴らしかった。以前、主任児童員の全国大会に参加したとき、児童表彰をしていることを発表したら、他県の人たちは驚いていた。この取組をしているのは下野市だけのようで、誇れることだと思った。
- ・6年生の態度が立派だった。どの賞をもらっても親はうれしいと思う。時間的にもよかった。
- ・先生方は子ども達をよく見てくださっていると思った。うれしくなるようなコメントが書いてある。下野市で児童表彰を行っていることで、子ども達の自信にもつながる。
- ・先生方は子ども達の良いところを見ていて、それを表彰につなげている。メダルの箱を渡すときに、児童は市長や教育長から直接声をかけてもらっていて、良い思い出になると思った。
- ・賞状とメダル、どちらがメインなのか、同格なのか。また、市長が隣にいるのに教育長が代読することに違和感があった。メダルをもらって、それをおいてから賞状をもらい、戻ってメダルを取るという流れにも違和感を感じた。賞状をもらってからメダルをもらった方が流れがスムーズだと思った。市が決めたことなのでやむを得ないが。
- ・以前は、市長が直接児童にメダルをかけることに意義があった。
- ・孫が体育賞をいただいた。学業成績以外に子ども達のよいところを見つけることはよいことだと思った。子ども達のこれからの生活において自信になればよいと思う。市長、教育長が児童一人一人に声をかけていたのが印象的だった。

③前期の振り返り

【学校より】

- ・「子どもを守る家」について……市教委に連絡して、対応してもらおう。
- ・「学校だより」を学区の自治会長にお願いし、回覧してもらうことに。（10月1日付で回覧）学校運営協議会の便りについても回覧する予定。
- ・地域のボランティアを活用している。（ふくべ細工・稲作づくり等）
- ・通学路を点検し、市へ危険箇所補修などのお願いをしている。

【委員より】

- ・子どもを守る家の看板がまちまち。新しいのがあったら替えた方がよい。
- ・稲作づくりでは、バケツ稲で学習しているのはさびしい。休耕田があれば。
- ・休耕田も減っているし、移動時間もかかるので、稲作体験をさせるのは難しい。

- 危険箇所補修は、自治会を通すと比較的早く動いてもらえる。年度始めに言った方がいい。予算がなくなるので。
- ふれあい学習推進委員会への案内が来ているかどうか。

(3) 事務連絡

○運動会……………令和4年11月11日(金)8:20から開会式

○第4回学校運営協議会…令和5年1月24日(火)

- 学校評価の結果の概要説明
- 今年度の総括と次年度に向けて

閉会